

The Reliability of the method of residual tumor estimation based on navigation log

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-02-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 山田, 浩之 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00032113

様式 (6)

学 位 審 査

学 位 番 号	甲 第 682 号	氏 名	山 田 浩 之
審 査 委 員 会	主 査 教 授	村 垣 善 浩	
論文審査の要旨 (400 字以内) 神経膠腫は境界不明瞭な浸潤性の悪性脳腫瘍で目視のみでの把握は困難であり、腫瘍の把握のため手術ナビゲーションが利用されている。我々は手術ナビゲーションが計測した術具の軌跡の記録 (ログ) を用いた残存腫瘍推定法を提案してきた。 本研究はこの推定法の信頼性を検証するために、十分な量のログを収集できた 25 人の患者を対象にログを用いて残存腫瘍を推定し、その体積を MR 画像上の残存腫瘍の体積と比較し相関を調べた。加えて、一定以上の大きさの残存腫瘍塊を検出する際の精度を調べた。体積の相関係数は 0.960 (P<0.001)、残存腫瘍塊検出の感度は 81.8%、特異度は 92.9%であり、高い相関と精度を持つことがわかった。加えて、個別症例でもログから摘出過程を解析し影響を予測できた。本推定法は残存腫瘍を高い信頼性を持って推定でき、推定結果を用いて摘出作業中の意思決定を支援できるという示唆された。 本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に医学部学務課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]			